



すわっ子だより

中秋の名月

校長 川添 倫義

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。暑い日が続く中、子どもたちが夏休みを元気に過ごしているか、教職員みんなで気にかけていました。今朝、正門で「おはようございます」と元気なあいさつを交わし、嬉しく感じました。

2学期は、校外学習や行事が数多く予定されています。事故やケガ、感染症の防止にも努めながら、子どもたちの心に残る行事となればと計画や準備を進めてまいります。

8月19日(火)に桜山中学校の先生方と小中合同研修会を行いました。子どもたちのよりよい成長のために、小中合同でどのような教育活動ができるかという視点で協議を行いました。グループ協議、全体協議と様々なアイデアが出され、今後の実現へ向けて期待が膨らむ研修会となりました。

今年は、10月6日(月)が中秋の名月になります。始業式で、子どもたちに「秋風に たなびく雲の たえ間より 漏れ出づる月の 影のさやけさ」という、藤原顕輔が詠んだ百人一首の和歌を紹介しました。その話の最後には、「秋の月を『きれいだね』と言いながら眺められる人が、みなさんのそばにいてくれることを願っています。」と添えました。

クラブ活動や特別支援学級で育てている稲の穂がぐんぐん伸びて、お米も随分できてきました。今年は昨年より育つのが早いようです。9月の中旬には収穫作業ができそうです。8月23日に「東岩槻まつり」が行われました。東小の稲は、おまつりに集まった子どもたちの楽しそうな声を聞きながら、さらに穂を大きく実らせているようです。